

PARMLIB(BPXPRMxx)メンバーの「SUPERUSER」

⊕ z/OS V2R3の変更点

- 「UID(0)」から「ユーザーID」へのマッピング（変換）
 - PARMLIB(BPXPRMxx)メンバーの「SUPERUSER(user_name)」指定値を利用（省略時値：BPXROOT）
 - ✓ z/OS V2R2までは、「UID(0)」属性を持つ他の「ユーザーID」をアサイン
- 当変更に伴う影響として、下記のような環境では、「UID(0)」から「ユーザーID」へのマッピングが失敗
 - 「SUPERUSER(user_name)」パラメータ指定の「ユーザーID」がRACF登録されていない
 - RACF登録されているが、「OMVS」セグメントの「UID(0)」属性を持たない
 - ✓ 「LU user_name OMVS NORACF」コマンド、「SEARCH CLASS(USER) UID(0) ALL」コマンドで確認可能
- 「UID(0)」から「ユーザーID」へのマッピングが失敗した場合
 - 「ls -l」コマンド実行結果の「オーナー」情報が正しく表示されない ⇒ 「0」と表示

⊕ 「Health Checker for z/OS」の新機能（z/OS V2R3）

- 新しいヘルス・チェック項目として、「CHECK(IBMUSS,USS_SUPERUSER)」が追加
 - 「SUPERUSER(user_name)」パラメータ指定の「ユーザーID」
 - ✓ RACF未登録、または、「OMVS」セグメントの「UID(0)」属性なし ⇒ 例外メッセージ（High Severity）
 - BPXH080E A problem was found with the SUPERUSER value of BPXROOT.

PARMLIB(BPXPRMxx)メンバーの「SUPERUSER」

✦ 推奨される対応・注意点

- PARMLIB(BPXPRMxx)メンバーの「SUPERUSER」パラメータで指定された「ユーザーID」
 - RACF登録し、かつ、「OMVS」セグメントにて「UID(0)」属性を指定
 - ✓ 「SUPERUSER(BPXROOT)」パラメータ（省略時値）が有効な場合の対応例
 - `ADDUSER BPXROOT DFLTGRP(OMVSGRP) OMVS(UID(0)) HOME('/') PROGRAM('/bin/sh')) NOPASSWORD`
- z/OS V2R2以前に利用されていた「UID(0)」属性を持つRACF「ユーザーID」を、PARMLIB(BPXPRMxx)メンバーの「SUPERUSER」パラメータで明示指定することも可能
 - この場合、RACF「ユーザーID」の新規登録が不要
- 「SUPERUSER」パラメータ指定の「ユーザーID」に関する注意点（以前より）
 - RACF FACILITYクラスの「BPX.DAEMON」プロファイルに対するアクセス許可を与えないこと
 - ✓ 「RLIST FACILITY BPX.DAEMON ALL」コマンドによる事前確認が必要
- 「SUPERUSER」パラメータで指定された「ユーザーID」に関する、RACF登録、および、「UID(0)」属性の必要性
 - 「初期設定およびチューニング 解説書」マニュアルでは、z/OS V2R3を含め、以前のリリースから記載あり
 - ✓ それに従った設計を行っている環境では、当変更の影響を受けない

PARMLIB(BPXPRMxx)メンバーの「SUPERUSER」

✦ 推奨される対応・注意点（続き）

- z/OS V2R3以降、バインダーの「SETOPT」ステートメントに「UID(0)」指定を含むPTF適用
 - 「SUPERUSER」指定の「ユーザーID」
 - ✓ RACF未登録、あるいは、「OMVS」セグメントの「UID(0)」属性を持たない場合
 - メッセージ GIM23911E、IEW2821Wを出力してBIND処理が失敗 ⇒ PTFの適用不可
- 発生事例：USS APAR OA58641のPTF UJ01705に対する「APPLY」処理が失敗

z/OS V2R3

```

z/OS V2 R3 BINDER      XX:XX:XX XXXXXXXX XXXXXXXX X, XXXX
BATCH EMULATOR  JOB(XXXXXXXX) STEP(XXXXXXXX) PGM= HEWLH096
IEW2278I B352 INVOCATION PARAMETERS - LIST,LET,NCAL,XREF,RENT,REUS,AMODE=31,RMODE=ANY,CASE(MIXED),CALL
IEW2322I 1220 1      INCLUDE SMPWRK3(FSUMXTSM)                UJ01705      SEQ # 000007
IEW2322I 1220 2      SETSSI 93500185
IEW2322I 1220 3      SETOPT PARM(PATHMODE(4,7,5,5),UID(0))
IEW2322I 1220 4      ORDER CEESTART
IEW2322I 1220 5      ENTRY CEESTART
IEW2322I 1220 6      ALIAS '../tmail'
IEW2322I 1220 7      NAME FSUMXTSM(R)                        MAX ACCEPTABLE RC=00
IEW2821W DF39 UID_0 NOT PROCESSED. UNIX SYSTEM SERVICES FUNCTION GETPWUID RETURNED REASON CODE 0B4F0800 AND RETURN CODE
000000A3.
GIM23911E ** LINK-EDIT PROCESSING FOR SYSMOD UJ01705 FAILED FOR MODULE FSUMXTSM
IN LMOD FSUMXTSM IN THE SFSLIB LIBRARY. THE RETURN CODE (04)
EXCEEDED THE ALLOWABLE VALUE. DATE XX.XXX - TIME XX:XX:XX -
SEQUENCE NUMBER 000009 - SYSPRINT FILE SMP00004.
  
```